

緑の風が通り抜けるリフレッシュ施設



白樺と楓に迎えらるる玄関アプローチ



アートワークに囲まれたラウンジ

この建物は、軽井沢の別荘分譲地の外れ、浅間山を間近に望む「新からまつの森」に建てられた企業のリフレッシュ施設である。敷地は東南方向へ緩やかに傾斜し、大きく眺望が開けている。

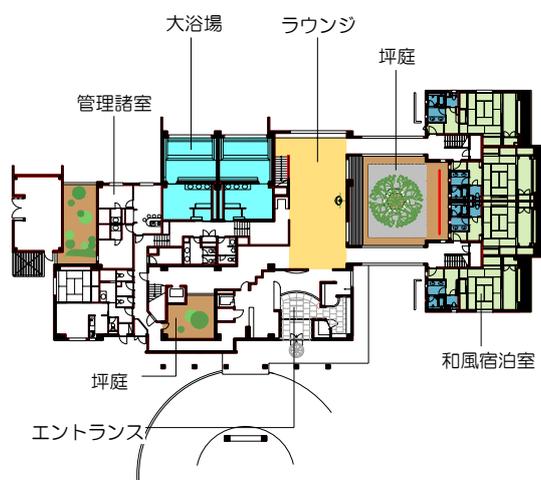
設計に当たり、建物はこの浅間の大地に何年も前から建っていたようなものにしたと考え、屋根の形状の検討や、使用材料の選定を注意深く進めた。大きな屋根は自己主張をできるだけ控え、緩やかな勾配の寄せ棟と切妻造とし、緑錆銅板葺きとした。外壁はせっき質の特注タイルとし、タイルの表面だけを残して目地はほとんど埋めてしまい、職人の手の跡を感じさせる自然な仕上がりを期待した。軒先・軒裏は米松とから松を使用し、バルコニーの木製デッキと対応させた。バルコニーの手摺りは、笠木を木製とし、腰は透明ガラスにして室内からの眺望の妨げにならないようにしてある。



のびやかな空間のラウンジ



エレベータ脇の坪庭



1階 平面図



中庭の談話スペース

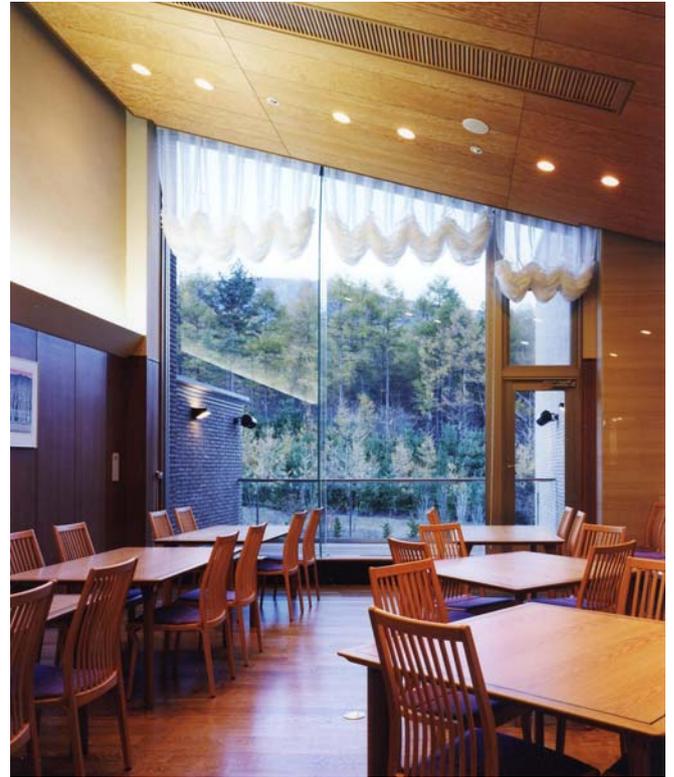
建物の平面計画上、大きな特徴の一つは、プライベートな宿泊部分とパブリックな本館部分とに分け、ガラス貼りの渡り廊下で繋ぐ分棟型としたことである。こうすることで宿泊部分のプライバシーが確保され、2本の渡り廊下に挟まれた部分には、屋外の談話スペースとして魅力的な中庭が出来た。

一般宿泊棟は1階が和室、2階が洋室で、それぞれ4室ずつの計8室である。この他本館ブロックには特別宿泊室が2室ある。各室とも素晴らしい眺望の外気に2面以上面しており、緑の風が通り抜け、小鳥のさえずりが常に聞こえてくる造りとなっている。

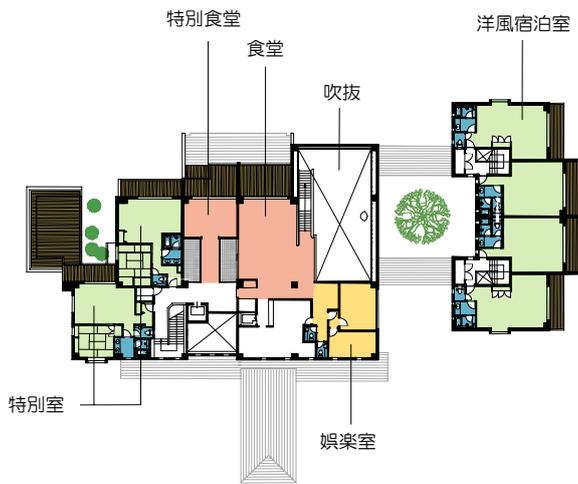
本館には1、2階吹き抜けのラウンジがあり、2階の食堂と空間的に一体となっている。数点のアートワークが、広くゆったりとした空間を心地よく引き締めている。またラウンジの中央にはファイヤープレースがあり「火を囲んでのくつろぎの場」を提供している。



カラ松林の中に建つ宿泊棟



浅間山を眺めながらの食堂



2階 平面図



檜の香りと御影石の大浴場

ラウンジの高い勾配天井は、木目の美しい米松の鋸引き仕上げとし、天窓からは自然光が降り注いでいる。大きな壁面は天然石の石粒を塗り固めた左官仕上げとした。宿泊室の建具や内装材は全て自然素材に徹し、ノンホルマリンの接着剤を吟味して使用した。

2階の食堂は開口部を思いきり高くとっている。そこから外部のデッキには自由に入出りできるので、室内・室外のどちらからでも浅間山の雄大な姿を眺めながら食事を楽しむことができる。

食堂の真下は大浴場で、黒御影の浴槽・壁と天井からは檜の香りが漂う気持ちの良い浴場である。浴場のプライバシーを保ちつつ、思い切った開放感の演出をするため、サンクンガーデンとし、土留めを兼ねた石組みの作庭と花木とで四季折々の変化が楽しめるようにした。

また随所に中庭や坪庭を設け、外部空間を室内に取り入れて変化のある空間づくりを心掛けた。



食堂につながる外部デッキ



洋風宿泊室



洋風宿泊室



和風宿泊室

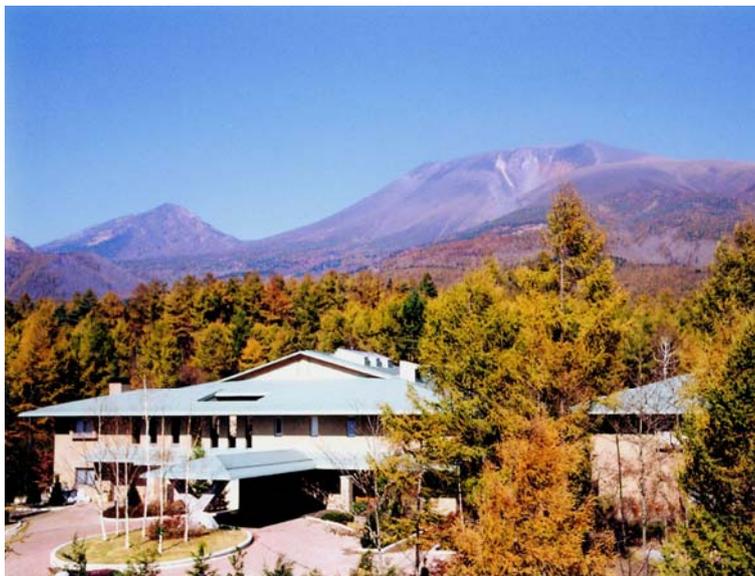


和風宿泊室



から松林の中の東屋

「ヴァンベール」とはフランス語で「緑の風」の意味だそうである。私たちのコンセプトにぴったりに命名されたこのリフレッシュ施設は、都会の喧噪から逃れて大自然に身をゆだね、心身共にリラックスできる空間づくりを目指したつもりである。リピーターが非常に多いと聞き喜んでいる。



背後に雄大な浅間山を望む

株式会社 茜 設 計

敷地面積 / 8,038.85 m²
 建築面積 / 1,160.00 m²
 延床面積 / 1,604.60 m²

構 造 / 鉄筋コンクリート構造
 階 数 / 地上2階・地下1階
 施 工 / 西武不動産株式会社